

規格外野菜の活用と地域活性化

東海大学付属諏訪高等学校 玉田佑芙 薬袋正史 村上英太

背景

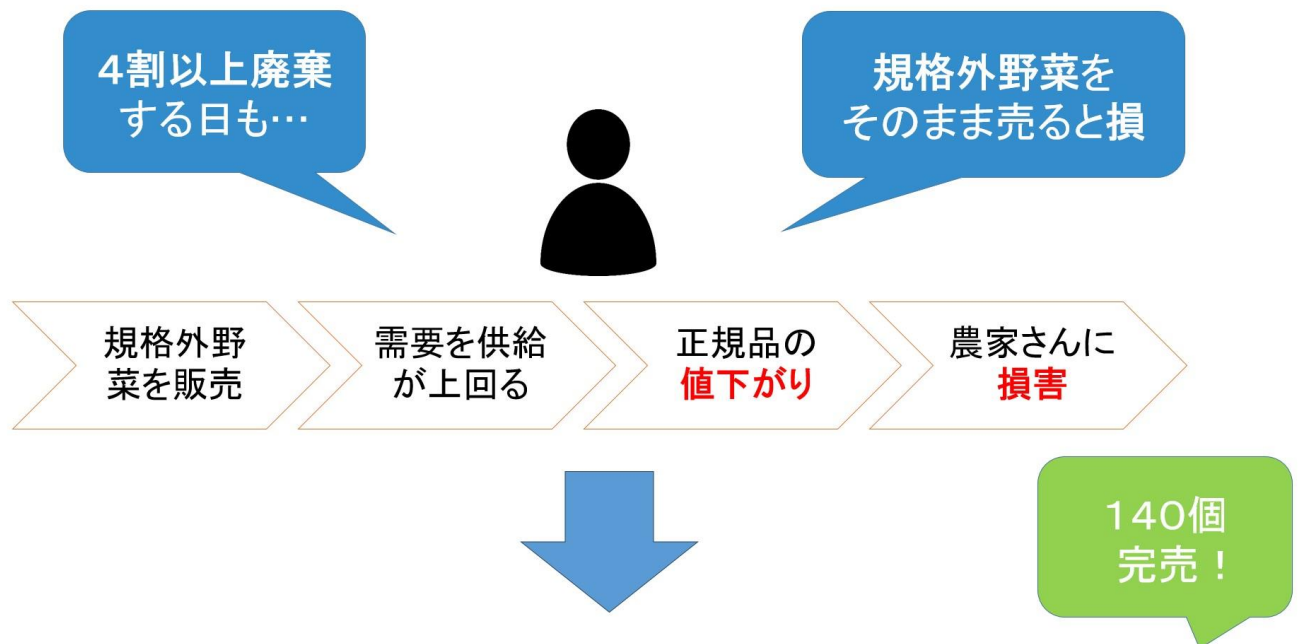
日本国内における食品ロス(事業系食品ロス・家庭系食品ロス)は年間612万トンにも上り多くの人が問題視している一方、農作物が生産される現場での食品ロス(主に規格外野菜)は統計データが記録されていないことから公になりにくいという現状がある。

目的・動機

- ①目に見えないところで多くの食品ロスが発生しているということを知ってもらう
- ②廃棄されてしまう農作物のおいしさを知ってもらうため
- ③地元の活性化に協力したい！

取組内容・結果

規格外野菜を活用するにあたり、地元の農家さんにお話を伺ってみると…



地元の企業と協力し廃棄予定のホオズキとりんごを使った商品を作成&販売

◎企業を経由することで単発になりにくい&農家さんの負担減少
(現在は人参ドレッシング、アスパラ茶等の商品化について計画中)

◎販売と同時にパンフレットを配布することでPR！

⇒**正規品の値段を保ったままの販売と地元の活性化を両立**

